

4 最新の安全保障状況を正確に表した教科書

① 中国によって一方的に行われた平成25(2013)年の防空識別圏設定を書いた

韓国が占領中 尖閣諸島 日本固有の領土の危機

わが国が領有 竹島は周山島で、人は住めないが周辺で豊富な漁場となっている。島取藩の人が幕府の許可を得ていた。1905(明治38)年、わが国領とし島根県に編入された。戦後は日米国際法であるサンフランシスコ条約で日本領土と確認されている。

ところが対日講和条約が発効された後、韓国の李承晩政権は、一方的に「承晩ライン」を設定し、竹島を「領有」として、違法に占拠し、抑留などを実施している。現在も、警備隊員を派遣し、事実上の支配を強化している。

解説 韓国が竹島の領有を主張する理由として、①竹島は韓国名獨島で、固有名詞である。②日本は力で日本領に編入した。③日本は韓国領土とされ、韓国領土とされるものである。

批判への提訴 ①の主張に対して、わが国への領土編入前に、

尖閣諸島は1885年からの調査に基づき、1895年日本政府がどの国にも属していないことを確認し、閣議決定して日本領土に編入した。そして最盛期には200人以上の日本人がカツオ節製造などで居住していた。戦後アメリカの施政下にあったが1972年沖縄返還とともに日本に戻った。1970年代はじめ島周辺で有望な油田が確認されると、中国は自国の領土だと主張しはじめ、漁船の違法操業を繰り返し、2010年にはわが国の巡視船に故意に衝突させた。2012年以降は公船を頻繁に領海侵入させ、2013年12月には防空識別圏を設定し、一方的に緊張を高めている。

また、2004年ごろから中国は日中間線付近のガス油田の採掘を始めた。わが国はそれをEEZ内の資源の横取りだと抗議しているが、解決できていない。

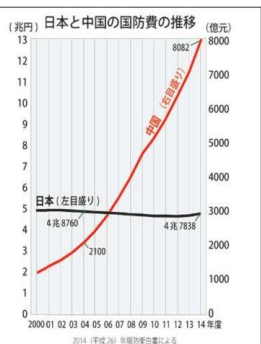


陸上兵力(万人)	艦艇(隻数/万t)	作戦機数(機数)
8	240/60	340
160、海兵隊1	890/142.3	2,580
102	650/10.1	600
52、海兵隊2.7	190/19.5	620
1.9	0	60
0	20/34.7	艦載機50
20、海兵隊1.5	410/20.1	500
1.8、海兵隊1	0	130
14	139/45.3	420

※前白書による。日本は2013年度末の実勢力。戦闘機および海軍艦艇、海兵隊機の総数である。数には輸送機、ヘリコプターを除外している。

のため各国は、周辺諸国と同程度の軍を整えてたがいにはバランスをとって相互の信頼を高めたり、共同してたりして、合意を形成しながら、自家間の平和維持との両立に努めてきた。

各国は、国連による集団安全保障の考、自国の安全や利益だけではなく、国際社会の平和と安定を維持する体制をとっています。が進展した現代では、自国とは直接か



② 中国の国防費が4倍になったことを記した

わが国は、ミサイル防衛(MD)システムで対抗しようとしている。

中国の国防費は10年間で4倍になっている。また国防費以外の項目でも多額に軍備増強のために支出されているといわれている。

③ 集団的自衛権行使容認の閣議決定がなされたことを記した

ることとなりました。さらに2014年にはそれまで個別の自衛権に限られていた憲法解釈を変更し、集団的自衛権の行使容認が閣議決定され、わが国と密接な関係にある他国への武力攻撃を自衛隊が阻止できるように、自衛隊法などの法整備を進めることになりました。

①わが国の平和と安全の基本は、日米安全保障条約によっている。②安保条約は、自衛隊とアメリカ軍の共同行動と、アメリカ軍への基地貸与を定めている。③周辺事態法と集団的自衛権によって日米防衛協力を緊密にした。

最近数年間の国内外をめぐる変化には目まぐるしいものがあります。『新しい公民教科書』は、これらの変化に対応して、表やグラフなどを最新のデータに変更しただけではなく、単元本文やコラム本文なども修正しました。特に、尖閣をめぐる中国との緊張関係など、日本の安全保障に関する最新の状況について説明しています。